



報道機関 各位

記者発表資料

令和4年10月31日（月）

文化振興課

課長：原田

担当：吉田・中馬

電話：829-1226 内線2811

問い合わせ先

伊藤園新俳句大賞事務局（担当：末下・土居）

電話：03-3264-4050

FAX：03-3263-5668

「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」受賞者が市長を表敬訪問します

「第三十三回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」一般の部A（40歳未満）大賞を受賞された、本市在住の柴崎誠也さんが市長を表敬訪問します。

1 日時

令和4年11月14日（月） 11時15分から11時30分まで

2 場所

さいたま市役所4階 市長室

3 訪問者（予定）

柴崎誠也 様（受賞者）

株式会社伊藤園 北関東・東関東地域営業本部長 平岡 和宏 様

埼玉地区営業部長 丸山 茂 様

広告宣伝部 吉川 友子 様

4 受賞作品

「カマキリの目力無人販売所」

※ 詳細は、別紙資料をご参照ください。

※ 取材を希望される場合は、11月10日（木）までに、伊藤園新俳句大賞事務局の担当者へご連絡ください、

当リリースは、10月30日(日) 11:30に
解禁をお願いします。

News Release

2022年10月30日
株式会社伊藤園

応募作品数約195万句の国内最大の創作俳句コンテスト

伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

一般の部A(40歳未満)大賞受賞者が さいたま市 清水勇人市長を表敬訪問

株式会社伊藤園(社長:本庄大介 本社:東京都渋谷区)は、1,946,459句の応募がありました「第三十三回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」において、一般の部A(40歳未満)大賞を受賞したさいたま市在住の柴崎誠也さん33歳(応募当時)が、清水勇人市長を表敬訪問することになりましたので、ご案内申し上げます。

柴崎さんは、10月30日にオンラインにて行われた発表会にて賞決定が発表され、主催者である伊藤園より賞状と賞金20万円のほか、受賞作品が掲載された日本茶飲料「お〜いお茶」が贈られました。

<表敬訪問概要>

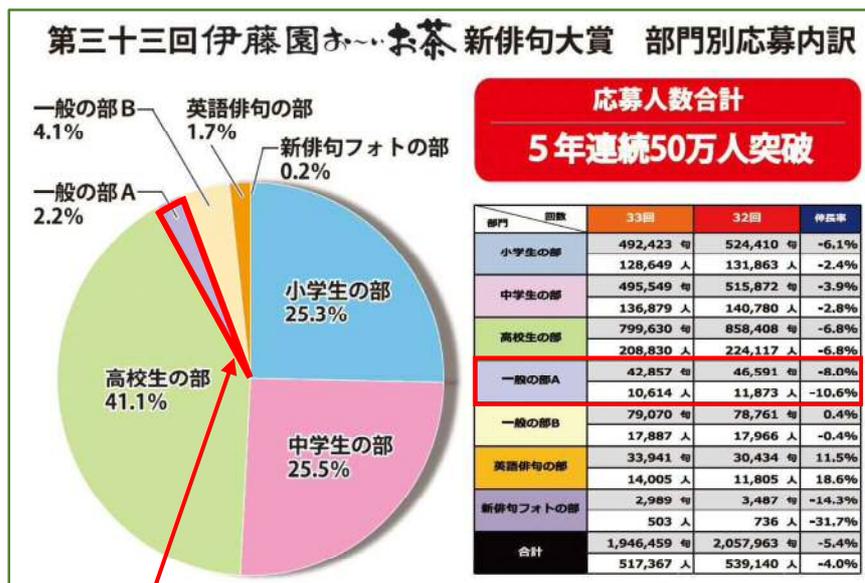
日時: 2022年11月14日(月) 11時15分~11時30分

場所: さいたま市役所4階 市長応接室

訪問者: 受賞者 柴崎 誠也(しばさき せいや)さん 33歳(応募当時)

主催者 株式会社伊藤園 北関東・東関東地域営業本部長
埼玉地区営業部長
広告宣伝部

平岡 和宏
丸山 茂
吉川 友子



柴崎さんの作品は、4万2,857句の応募作品のトップとなります

この件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

株式会社伊藤園広告宣伝部

〒151-8550 東京都渋谷区本町3-47-10

担当: 吉川

電話 03-5371-7177

携帯070-7596-2689

伊藤園新俳句大賞事務局

〒102-8553 東京都千代田区紀尾井町3-23

担当: 末下・土居

電話 03-3264-4050

携帯070-2196-5224

【受賞作品】

【一般の部A】

応募総数 42,857句

カマキリの目力無人販売所

柴崎 誠也(しばさき せいや)さん 33歳(応募当時) さいたま市

(作者より)

野菜や花の無人直売所でカマキリに出会いました。獲物を待つそのカマキリの目に力強さを感じ、鋭い視線がお金を払わない人を威圧し、見張っているように感じたことを俳句で表現しました。

(選評)

無人直売所は、畑に近い路傍の小さな屋台風の掘立て小屋です。そこに置かれている野菜は新鮮で、おそらく朝採りのものでしょう。カマキリはその野菜を狙う生きものたちを許せないとみているのです。まだ誰も来る気配はありません。カマキリの目力がらんと輝いて来て、そろりと足を踏み出したところでしょうか。

【伊藤園お〜いお茶新俳句大賞とは】

1985(昭和60)年、伊藤園は世界で初めて緑茶の飲料化に成功し、1989(平成元年)年、商品名を「煎茶」から「お〜いお茶」へ名称変更した際に話題づくりとして、『伊藤園お〜いお茶新俳句大賞』を開始いたしました。開始の背景には、1989年が松尾芭蕉の「奥の細道」紀行300周年にあたり、その前年に歌人・俵万智さんの「サラダ記念日」が260万部も売れるなど、伝統的な短詩形文学への関心が高まりつつあったことがあります。カルチャーセンターなどでは、俳句や短歌の講座に人気が集まるなど大衆化の兆しがありましたが、自身の作品を発表する機会がほとんどなく、発表への要求や意欲が広がっていました。

そのような動向がある中で、伝統的な俳句の世界では、若い世代への日本文化である俳句の継承が困難になりつつあるという課題もありました。

そこで、伊藤園では、伝統的な俳句のルールにとらわれず自由な発想で創作できる「新俳句」を募集し、商品である「お〜いお茶」で発表するコンテストを企画し、一般の方の文芸で自己表現したいという要望に応えるとともに、創作の敷居を低くすることで俳句の楽しさを多くの方に知っていただく機会を創出、さらにはそれらを通して商品の話題づくりになればと考えました。

応募作品数は第一回の約4万句から回を重ねるごとに増え、33回目を迎えた今回、約195万句のご応募をいただき、累計応募数も約4,170万句となりました。



【第三十三回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 応募トピックス】

- ・応募人数約52万人、応募句数194万6,459句。累計応募数は4,165万5,734句
- ・海外からの応募国数64カ国
- ・最も応募数の多い部門は、「高校生の部」 79万9,630句
- ・最も前回から伸びた部門は、「英語俳句の部」前回比11.5%増 3万3,941句
- ・埼玉県の第三十三回入賞者は120名、内訳は「一般の部A大賞」1名、「優秀賞」3名(高校生の部2名、英語俳句の部1名)、「審査員賞 黒田杏子選」1名、「都道府県賞」5名、「佳作特別賞」110名
- ・さいたま市入賞者は21名、佳作46名。
入賞内訳は「一般の部A大賞」1名、「優秀賞」2名(高校生の部1名、英語俳句の部1名)、「都道府県賞」1名、「佳作特別賞」17名
- ・埼玉県は過去に文部科学大臣賞2名、金子兜太賞1名を輩出

【第三十三回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 実施概要】

- 応募部門 小学生の部(幼児含む)、中学生の部、高校生の部、一般の部A(40歳未満)、一般の部B(40歳以上)、英語俳句の部、新俳句フォトの部
- 募集期間 2021年11月3日～2022年2月28日
- 賞
 - ・文部科学大臣賞 1名
 - ・金子兜太賞 1名
 - ・各部門大賞 各部門1名 計7名
 - ・優秀賞 各部門7名(英語俳句9名、新俳句フォト3名) 計47名
 - ・審査員賞 11名
 - ・後援団体賞 10名
 - ・都道府県賞 各都道府県5名(海外5名) 計240名
 - ・佳作特別賞 1,683名
 - ・佳作 5,000名

佳作特別賞以上2,000名の入賞作品を商品パッケージに掲載
さらに、佳作5,000名を含めた合計7,000名に作品集『自由語り』を進呈

- 審査員 日本語俳句: 浅井慎平(写真家)
安西篤(俳人)
いとうせいこう(作家・クリエイター)
金田一秀穂(日本語学者)
黒田杏子(俳人)
夏井いつき(俳人)
宮部みゆき(作家)
村治佳織(ギタリスト)
吉行和子(女優)
英語俳句: アーサー・ビナード(詩人)
星野恒彦(俳人) ※敬称略

- 主催 伊藤園新俳句大賞実行委員会

- 後援 文部科学省、現代俳句協会、国際俳句交流協会
NHK学園、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター 毎日文化センター、
読売・日本テレビ文化センター
(公財)日本国際教育支援協会、(公社)日本観光振興協会、日本教育新聞

F A X 0 3 - 3 2 6 3 - 5 6 6 8

伊藤園新俳句大賞事務局行き

「第三十三回 伊藤園お〜お茶 新俳句大賞」

一般の部A 大賞受賞者

さいたま市 清水勇人 市長表敬訪問 取材申込書

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、ご取材いただける場合は本紙に必要事項をご記入の上、11月10日（木）までにFaxにてご返信いただきますようお願い申し上げます。

【日 時】 2022年11月14日(月)集合 11:00 実施 11:15~11:30

【集合場所】 さいたま市役所 4階エレベータ前
さいたま市浦和区常盤6-4-4

貴社名 : _____

部署名 : _____

媒体名 : _____

御芳名 : _____

ご同伴者人数 : _____ 名

カメラ : ENG _____ 台 ・ スチール _____ 台

Tel. _____ Fax _____

特記事項 : _____

お問合せ先

伊藤園新俳句大賞事務局 担当 : 末下・土居
東京都千代田区紀尾井町3-23 Tel.03-3264-4050 Fax.03-3263-5668
※当日のお問合せ先 (070-2196-5224 末下 携帯電話)